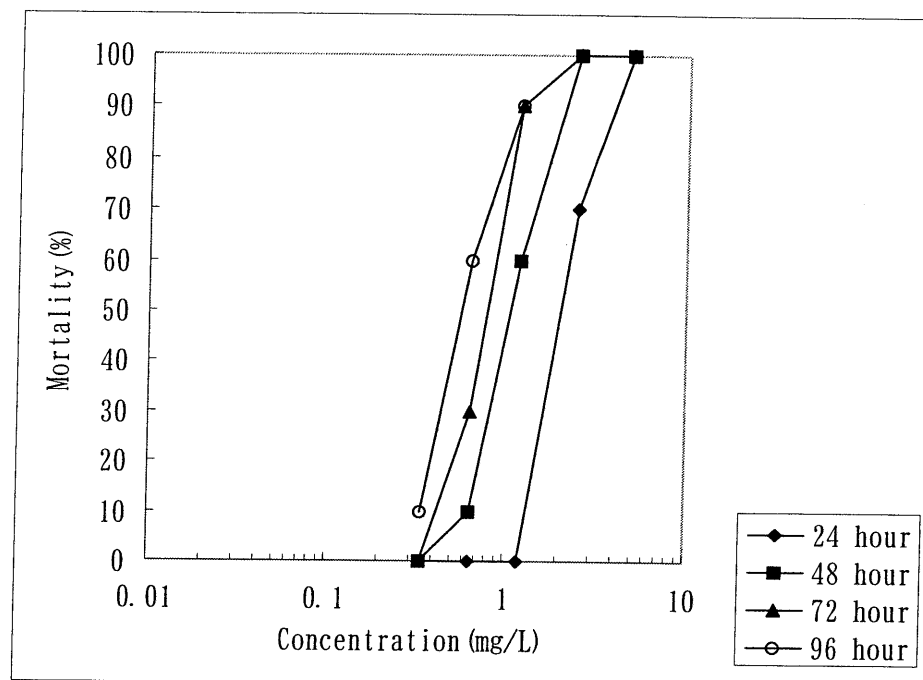


Figure 1 Concentration-Response (Mortality) Curve



要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオールの藻類 (*Selenastrum capricornutum*)
に対する生長阻害試験

試験番号

7 B 7 2 3 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- | | |
|----------------|--|
| 1) 被験物質: | 2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオール |
| 2) 暴露方式: | 止水式, 振とう培養 (100rpm) |
| 3) 供試生物: | <i>Selenastrum capricornutum</i> (ATCC22662) |
| 4) 暴露期間: | 72時間 |
| 5) 試験濃度 (設定値): | 対照区および 1000 mg/L (限度試験) |
| 6) 試験液量: | 100 mL (OECD培地) |
| 7) 連数: | 3 容器/濃度区 |
| 8) 初期細胞濃度: | 1×10^4 cells/mL |
| 9) 試験温度: | 23 ± 2 °C |
| 10) 照明: | 4000~5000 lux (連続照明) |
| 11) 被験物質の分析: | GC法 |

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の濃度は開始時において設定値の±20 %以内であったため、下記の生長阻害濃度の算出には設定値を採用した。なお、暴露72時間の設定値に対する割合は99 %であった。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 Ebc50 (0-72) : >1000 mg/L

無影響濃度 NOECb (0-72) : >1000 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-48) : >1000 mg/L

無影響濃度 NOECr (24-48) : >1000 mg/L

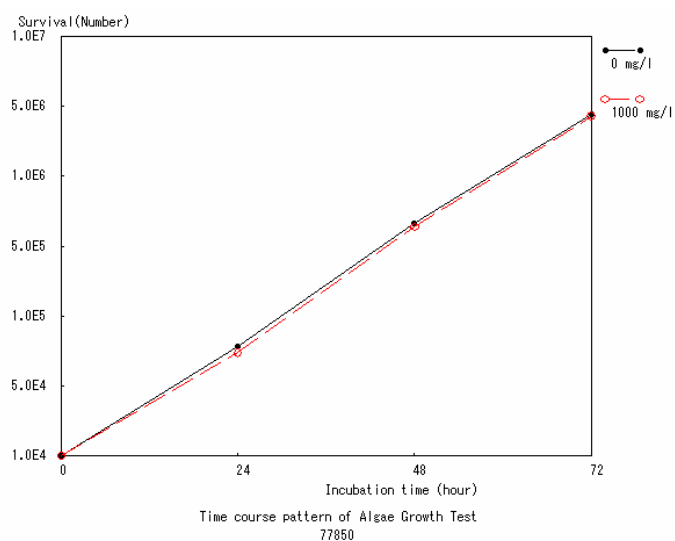
50%生長阻害濃度 ErC50 (24-72) : >1000 mg/L

無影響濃度 NOECr (24-72) : >1000 mg/L

藻類毒性値に関する補足資料

2-ヒドロキシエチル-2-メチル-1,3-プロパンジオール (Cas.77-85-0)

① 生長曲線



② 毒性値

- 0-72hErC_{50r}: >1,000mg/L
- 0-72hNOECr: >1,000mg/L

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

7 B 7 4 1 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオール
- 2) 暴露方式： 止水式
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, および 1000 mg/L
- 6) 試験液量： 1 容器 (連) に付き 100 mL
- 7) 連数： 4 容器 (連) / 濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭 / 濃度区 (1 連に付き 5 頭)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明 / 8時間暗
- 11) 被験物質の分析： GC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の実測濃度がすべて設定値の±20%以内であったので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >1000 mg/L

最大無作用濃度 (NOECi) : >1000 mg/L

100%阻害最低濃度 : >1000 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >1000 mg/L

最大無作用濃度 (NOECi) : >1000 mg/L

100%阻害最低濃度 : >1000 mg/L

Figure 1 Concentration-Immobilization Curve for a 48-Hour *Daphnia magna* Immobilization Test

